

# 学校だより



令和7年10月31日

## ～子供の輝きを大切に～

秋の深まりとともに、子供たちの学びにも豊かな実りが見られる季節となりました。今年の運動会は、雨天のため延期となり10月5日に開催しました。全校児童数が39人という史上最少人数での実施となりましたが、大勢の皆様の声援や応援をいただいたことで、子供たちも練習の成果を発揮し、活躍することができました。

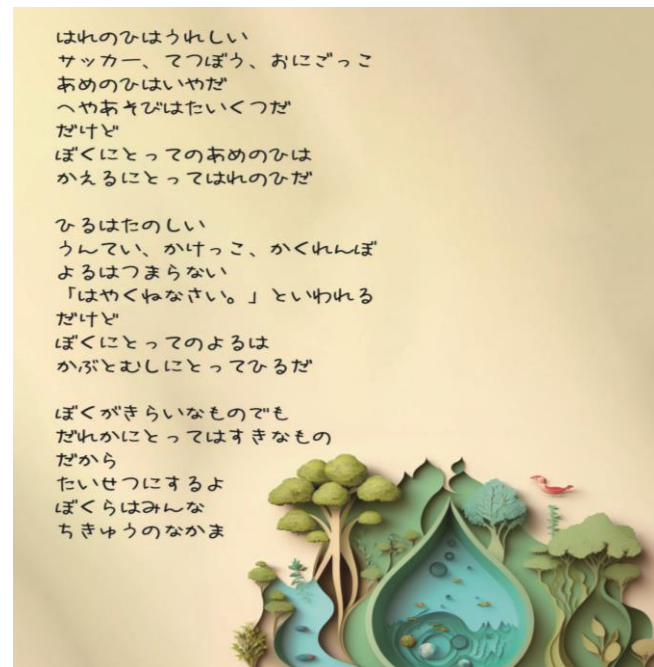
また、演技だけでなく、準備や片付けでキビキビと行動している姿にも感動しました。みんなが一つになって、運動会を成功させようとしている気持ちが伝わってきました。一人一人が自分の役割を真剣に果たすこと、それが何よりも大切だということを忘れないで、今後もいろいろな場面で活躍してくれるよう、教職員一同一丸となって支えていきたいと思ひます。

ご支援・ご協力賜り誠にありがとうございました。

さて、11月は「人権を考える強調月間」です。人権とは、すべての人が生まれながらにして持っている大切な権利であり、誰もが自分らしく、安心して暮らせる社会を築くための土台です。この月間にあわせて、県内の小学生が書いた「人権の詩」を紹介させていただきます。



2024年度 知事賞作品



2023年度 知事賞作品

2024年度の知事賞に選ばれた「十人十色」という作品には、「人はそれぞれ違っていい」「違いを認め合うことが大切」という強いメッセージが込められています。

また、2023年度の「ちきゅうのなかま」という詩では、地球上のすべての人が仲間であり、互いに助け合って生きていくことの大切さが、やさしい言葉で表現されています。

これらの詩は、子供たちの純粋な感性と、相手を思いやる気持ちが詩を通して伝わってきます。違いを受け入れ、認め合うことが、人権を守る第一歩です。

学校では、日々の生活の中で「ありがとう」「ごめんね」「だいじょうぶ?」といった言葉を大切にしながら、互いを尊重する心を育てています。ともに未来の芦原を支える子供たちのために、ご家庭でも、ぜひ人権について話し合う時間を持っていただければと思います。友だちとの関係、家族とのつながり、地域でのふれあいの中に、人権を大切に作る心が育まれていきます。子供たちが互いを尊重し、思いやりのある社会を築いていく力を身につけられるよう、学校でも引き続き取り組んでまいります。

## ～心に届く絵本の読み聞かせの時間～

本校では、毎学期に1～2回、元芦原小学校校長の松田晃先生をお迎えして、絵本の読み聞かせを行っています。松田先生の穏やかなやさしい語り口と温かいまなざしに、子供たちは自然と引き込まれ、絵本の世界に心を寄せています。

この読み聞かせの時間は、ただお話を楽しむだけでなく、子供たちの人権感覚を育てるための貴重な学びの場となっています。

私たち大人にとっても、絵本は時に大切なことを気づかせてくれる「心の教科書」です。ご家庭でも、お子さまと一緒に本の世界にふれてみてはいかがでしょうか。

他にも、図書委員さんが低学年の子供たちに読み聞かせの会を開いてくれる予定もあります。今後も、日々の学校生活のさまざまな場面を通して、子供たちが「自分も相手も大切にできる心」を育てていけるように、取り組みを進めていきます。



### 人権標語入賞おめでとう

- 低学年の部 みんなずっといい気持ちであそぼうね。 2A
- 中学年の部 友だちのすてきなところたくさん見つけよう 3A
- 高学年の部 みんなで助け合い つながる未来 5A

★笑顔はじける運動会～2025思い出の1ページ～★

